

報告書の概要等

「職業生活活性化のための年単位の長期休暇制度等に関する研究会」
報告書の概要

「仕事と生活の調和の実現」における「年単位の長期休暇制度」の
位置づけ

職業生活活性化のための年単位の長期休暇制度等に関する研究会報告書の概要

年単位の長期休暇制度

職業生活を始めてから一定期間経過後に、**人生を再設計し、今後の生き方・働き方を活性化**する機会としての休暇制度

制度のイメージ

休暇の用途：社会活動への参加、自己啓発活動等
休暇の対象：一定期間以上の継続した勤続のある者
休暇の期間：1年以上の期間

年単位の長期休暇制度の意義

個人にとっての意義

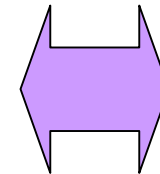
仕事と生活の調和の実現
安心・納得した生き方、働き方の実現

企業にとっての意義

労働者の就労意欲の高まり、生産性の向上
優秀な人材の獲得・確保
社会的責任の実践

経済社会にとっての意義

経済の活性化
家庭や地域社会の活性化を通じて社会の活力ある発展



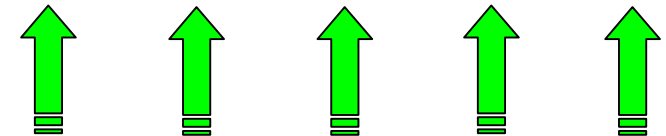
長期休暇制度の導入に当たっての課題

個人サイド

休暇時の生活費
休暇の有効活用の方法がわからない

企業サイド

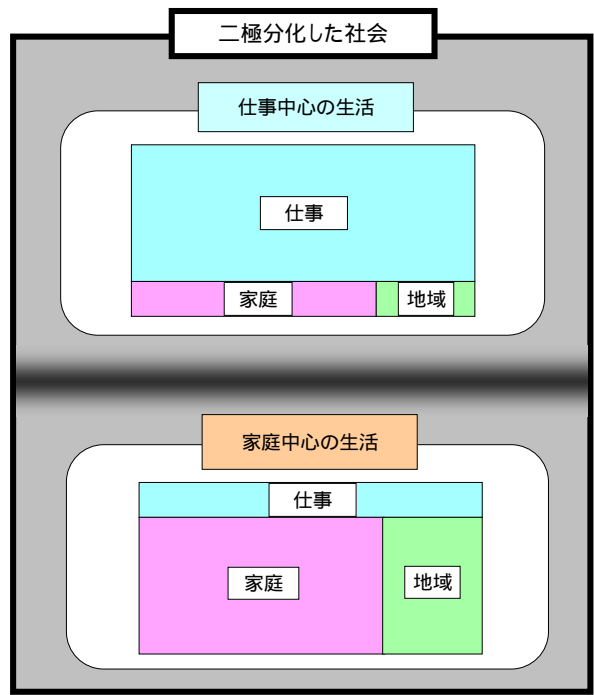
金銭的成本(休暇取得時、導入時)
必ずしも明確なベネフィットが期待できない



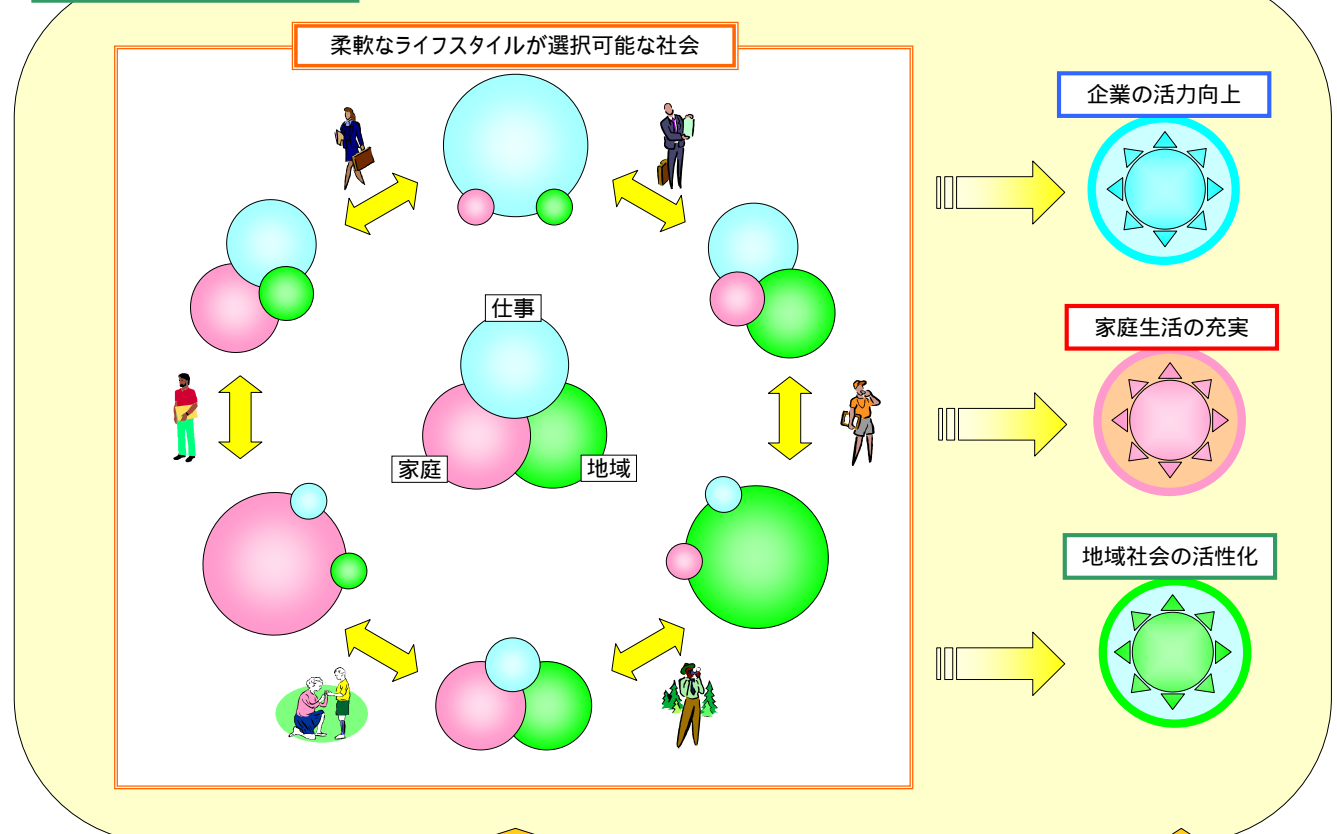
具体的な支援策

ベスト・プラクティスの提供等普及啓発活動
制度活用に必要な情報提供
長期休暇取得者への生活費の支援
制度を導入する企業への支援

「仕事と生活の調和の実現」における「年単位の長期休暇制度」の位置づけ



社会のビジョン



政策展開

仕事と生活の調和のための環境整備

- | | | |
|------|---|----------|
| 【職場】 | 多様かつバランスのとれた働き方
〔労働時間・就業場所・賃金制度・
均衡処遇・キャリア形成〕 | 生涯にわたる学習 |
| 【家庭】 | 自立(律)自助・協同・共助
・人生設計：節目での再設計 | |
| 【地域】 | 資産形成
・ボランティアなどの地域活動 | |
- (年単位の長期休暇)**

持続・安定 = 安心・納得

社会保障制度、税制等

個人のビジョン

